

グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

追加型投信／内外／株式

愛称：健次

第30期末（2019年2月27日）	
基準価額	9,847円
純資産総額	161,412百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	-1.5%
分配金合計	0円

第30期（決算日：2019年2月27日）

作成対象期間

（2018年8月28日～2019年2月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行うことで信託財産の中長期的な成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

■ ファンドマネージャーのコメント

当期（過去6ヵ月）の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

ファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行いました。

【第30期末における主なヘルスケア・バイオ関連株への投資のポイント】

ポートフォリオの構築について

- ・ポートフォリオの構築については、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果を追求する投資を行いました。
- ・引き続き、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行います。

新しい医薬品の開発が期待されている分野について

◎がん免疫治療薬

- ・がんの増殖などに関係する特定の分子を狙い打ちする分子標的薬の開発や、自己免疫機能でがん細胞を攻撃する抗体医薬品の開発が進んでいます。現在のがん免疫治療薬の分野においては、プリストル・マイヤーズ スクイブ社及び小野薬品工業のオブジーボなどが代表的ながん治療薬として知られています。これらのがん免疫治療薬が対象とするがん種は一部であり、今後、他のがん種への適用可能性を探る研究も進められています。当ファンドにおいてもこれら企業への投資に加え、多くの製薬会社が新たながん免疫治療薬の研究及び開発を進めている中で、有望なパイプライン（新薬候補）を持つ企業についても投資を行いました。

◎アルツハイマー型認知症治療薬

- ・認知症の大きな割合を占めるアルツハイマー型認知症は、世界的な国際化の進展に伴い患者数が急増しており、各国政府も無視できない領域になっています。これまでメカニズムの解明が遅れていましたが、根本的な治療につながる新薬の開発が期待されており、有望なパイプラインを持つ企業に投資を行いました。



ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
マネジング・パートナー、グローバル産業アナリスト
ジーン・ハインズ

前記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

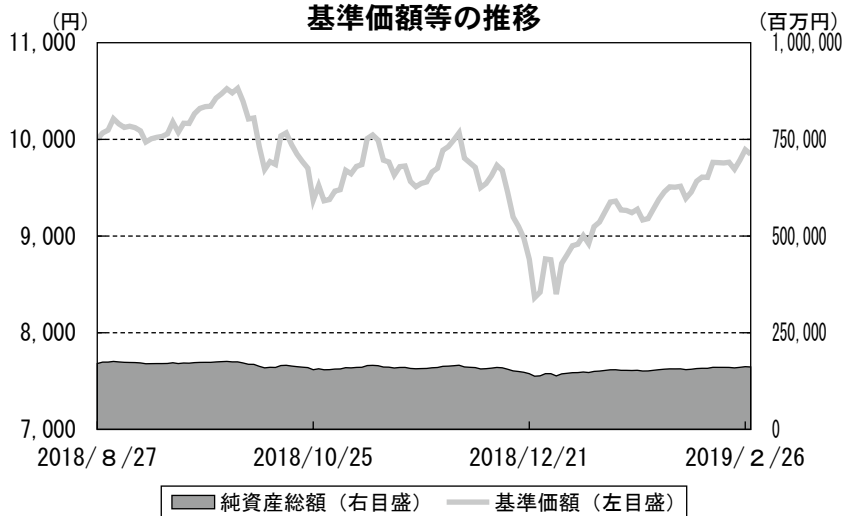
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第30期：2018/8/28～2019/2/27)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.5%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

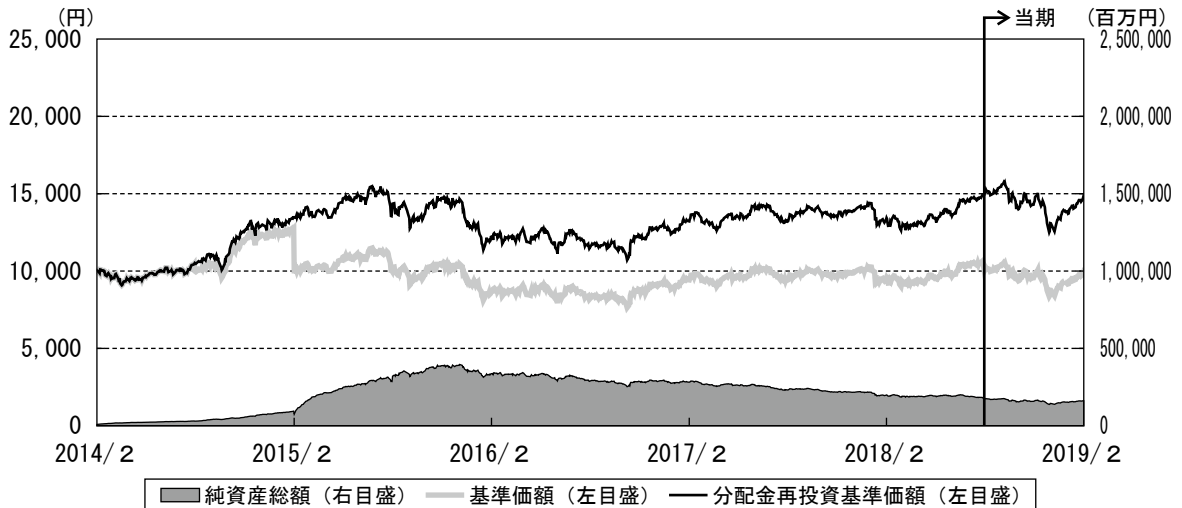
基準価額の変動要因

下落要因

保有するヘルスケア・バイオ株式が下落したことや、米ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年2月27日～2019年2月27日)



・分配金再投資基準価額は、2014年2月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/2/27 期初	2015/2/27 決算日	2016/2/29 決算日	2017/2/27 決算日	2018/2/27 決算日	2019/2/27 決算日
基準価額 (円)	10,001	10,000	8,743	9,425	9,585	9,847
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	3,332	402	0	0	660
分配金再投資基準価額騰落率	—	34.8%	-9.1%	7.8%	1.7%	9.5%
参考指数騰落率	—	18.2%	-8.3%	9.0%	14.7%	6.9%
純資産総額 (百万円)	7,051	74,525	337,388	281,244	199,083	161,412

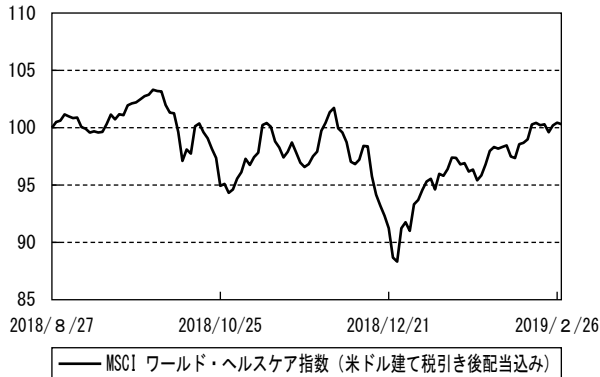
・ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ・参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数 (米ドル建て税引き後配当込み) の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時 (2000年7月28日) を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

(第30期：2018/8/28～2019/2/27)

参考指数の推移 (期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・ヘルスケアセクターの株価は、小幅上昇しました。
- ・期首から2018年11月にかけて、米長期金利の上昇や英国の欧州連合（EU）離脱をめぐる不透明感が高まったことなどから下落する場面があった一方、米中間選挙で市場予想通りねじれ議会となったことで、現在の医療制度が概ね維持されるとの見方が高まったことなどから上昇し、一進一退の動きとなりました。12月後半にかけて、グローバル経済の減速懸念が高まったことなどから大幅に下落し、その後米中通商協議の進展期待やヘルスケアセクターで大型買収が相次いで発表されたことなどから上昇しました。

為替市況の推移 (期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドル安・円高となりました。
- ・期首から2018年12月中旬にかけて、米国経済の堅調さが好感されたことなどから米ドル高・円安となりました。その後、グローバル経済の減速懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米長期金利の低下などから米ドル安・円高が急速に進んだものの、米金融当局が追加利上げに対して慎重姿勢となったことなどを背景に反発し、期末にかけて米ドル高・円安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド>

- ・グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド>

基準価額は期首に比べ0.3%の下落となりました。

- ・世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・前記のような方針に基づき運用した結果、組入銘柄の現地通貨ベースでの株価は下落しました。パフォーマンスに影響した主な銘柄は以下の通りです。

(マイナス要因)

◎銘柄

- ・BRISTOL-MYERS SQUIBB CO (米国)：同業他社が良い臨床試験結果を発表したことなどから株価が下落しました。

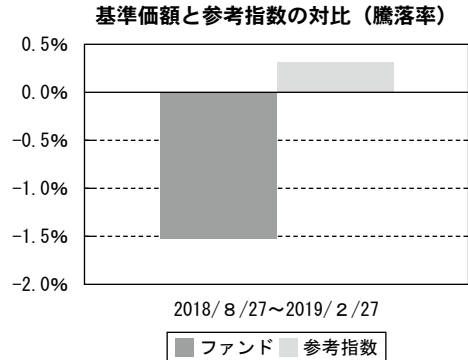
◎為替

- ・米ドルが対円で下落したことがマイナスとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数については最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。



分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第30期
	2018年8月28日～2019年2月27日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	175

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

＜グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド＞

◎今後の運用方針

- ・引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

＜グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド＞

◎運用環境の見通し

- ・今後も、ヘルスケアセクターは投資魅力が高いとみています。①バイオ医薬品分野での活発なイノベーションや米国食品医薬品局（FDA）による医薬品の承認ペースが2000年代に比べて上がっている傾向にあること、②新興国の経済成長に伴う所得増加や人口増加、③先進国を中心とした世界的な高齢化の進展などを背景に、今後もヘルスケア市場の中長期的な成長が見込まれています。
- ・ヘルスケアセクターの企業収益見通しは引き続き堅調とみています。医薬品の分野ではがん免疫、アルツハイマーなどに着目しています。また、技術革新が伴う新薬については適正な価格設定がなされると考えています。こうした中、税制改正などの後押しもあって開発中の新薬や新技術の獲得などを目的に、引き続き活発にM&A（合併・買収）が行われ、特にがん免疫領域では複数の勝ち組企業が残ると見えています。また、医療サービス分野では垂直統合型の再編が継続し、コスト引き下げ圧力が一段と高まることが予想されます。それに伴い医療機器分野でも規模や革新的技術、新たなビジネスモデルを求めた再編が加速する見通しです。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。
- ・運用手法はファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後中長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行う方針です。
- ・今後、バイオテクノロジー技術の発展や、医薬品、医療サービスへの価格抑制圧力は企業間での競争に差がつくと予想されるため、個別銘柄の選別がより重要と考えています。また、適正な株価水準についても常に確認しながら、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すなど機動的な運用を行うことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果の追求をしていく方針です。

お知らせ



受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>)にて開示を行っている場合があります。

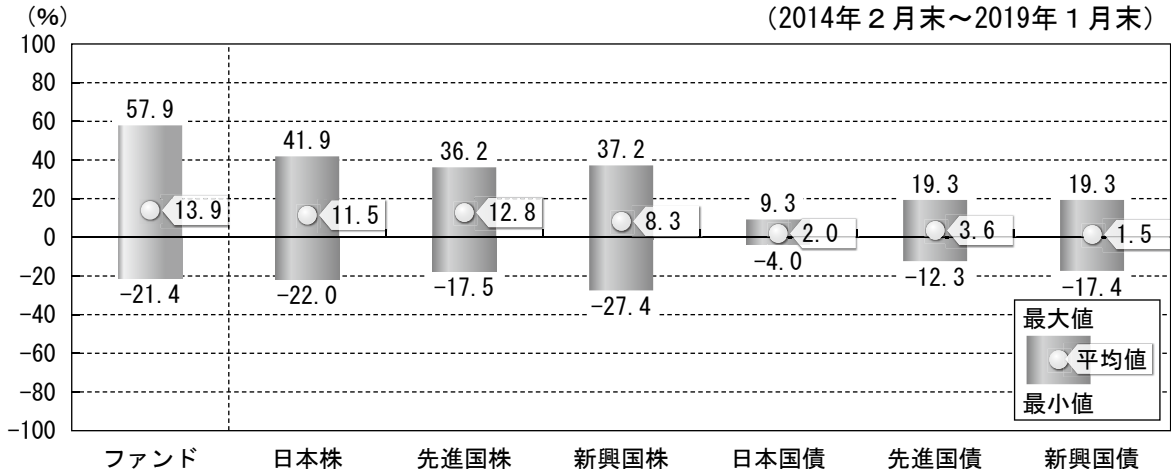
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2029年2月27日まで（2004年2月27日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券
	グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープンマザーファンド	世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。 ・ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ・マザーファンドの株式等の運用指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 	
分配方針	<p>毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

(2014年2月末～2019年1月末)



○上記は、2014年2月から2019年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

- 日本株 : TOPIX (配当込み)
- 先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
- 新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
- 日本国債 : NOMURA-BPI (国債)
- 先進国債 : FTSE世界国債インデックス (除く日本)
- 新興国債 : JPMORGANGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2019年2月27日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第30期末 2019年2月27日
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	95.6%

・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第30期末 2019年2月27日
純資産総額	161,412,754,907円
受益権口数	163,921,265,011口
1万口当たり基準価額	9,847円

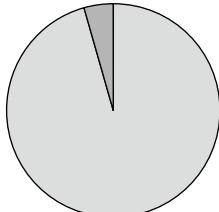
・当期中において
追加設定元本は 13,078,624,137円
同解約元本は 19,386,918,738円です。

種別構成等

【資産別配分】

コール・ローン等

4.4%



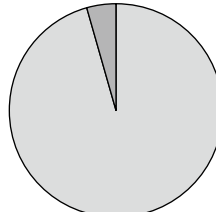
マザーファンド受益証券

95.6%

【国別配分】

その他

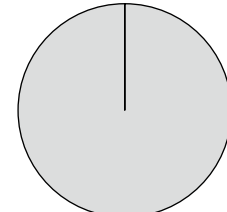
4.4%



日本

95.6%

【通貨別配分】



円

100.0%

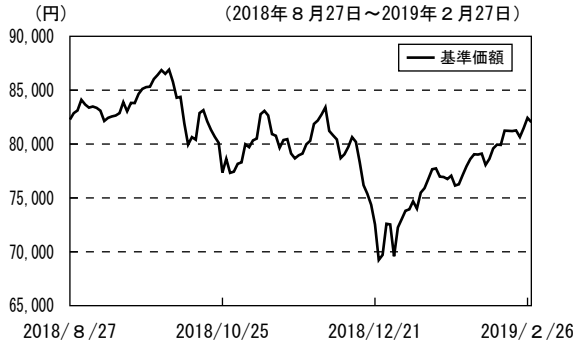
・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
 ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

(2019年2月27日現在)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

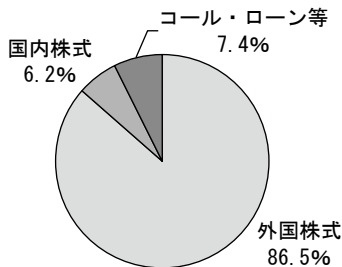
(組入銘柄数：65銘柄)

銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1 UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー・ヘルスケア・サービス	5.5%
2 NOVARTIS AG-REG	株式	スイス	医薬品	5.2%
3 ELI LILLY & CO	株式	アメリカ	医薬品	5.2%
4 BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	株式	アメリカ	医薬品	4.5%
5 ABBOTT LABORATORIES	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.4%
6 ASTRAZENECA PLC	株式	イギリス	医薬品	4.0%
7 BOSTON SCIENTIFIC CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	3.6%
8 ANTHEM INC	株式	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー・ヘルスケア・サービス	3.3%
9 ALLERGAN PLC	株式	アメリカ	医薬品	3.1%
10 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	株式	アメリカ	ライフサイエンス・ツール/サービス	3.0%

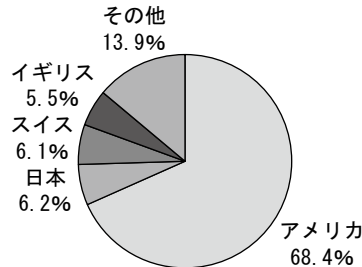
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・業種はGICS（世界産業分類基準）の産業分類によるものです。
- ・GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

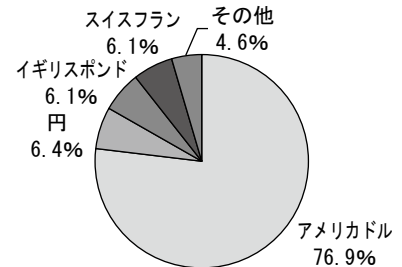
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まれます。

1万口当たりの費用明細

項目	第174期～第179期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	14円 (14)	0.017% (0.017)
(b) 有価証券取引税 (株式)	6 (6)	0.008 (0.008)
(c) その他費用 (保管費用)	6 (6)	0.007 (0.007)
合計	26	0.032

作成期中の平均基準価額は、79,958円です。

(2018年8月28日～2019年2月27日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○ファンドの参考指数である『MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）』について

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信